



日野小だより

令和5年1月27日(金) 第11号

日野小学校の教育目標

豊かな心で

たくましく やりぬく子

かしこい子

やさしい子

たくましい子

新しい年をむかえて！

新しい年を迎え、子ども達はコロナウイルス感染症「第8波」にも負けず、元気ががんばっています。岐阜県では、岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言が延長され、まだまだ心配は続きますが、感染対策へのご協力をこれからもよろしくお願いします。

1月に入り、コロナ禍での感染防止対策に心配はありますが、クラブ活動や日野っ子メイツの活動、ミシンボランティアの皆様のご協力など、地域の方々のお力をお借りして教育活動を順調に行うことができます。

また、薬物乱用防止教室(6年)、車いす体験(5年)、ブックトーク(4, 5, 6年)など講師の方に教えていただく学習や、全校そろっての命を守る訓練もしっかりと行うことができました。

新型コロナウイルス感染症の類型の変更が話題になり始めていますが、日野小学校では、今まで学習で行っていた内容を少しずつでも実施し、子ども達の学びが充実できるように努めてまいります。まだまだ、消毒や体調管理など、感染症対策が続きますが、よろしくお願いします。



■6年、総合的な学習の時間

6年生は本年度の総合的な学習の時間の中で『SDGsの17の目標を自分の問題としてとらえ、問題を解決するためにできることを協働的に考える。多角的な視点で調査・追求し、自分で立てた行動計画をもとに実践活動に取り組むことができる。』という目標を立て、学習を進めてきました。「1, SDGsについて調べよう」「2, 身近なSDGsについて知ろう」「3, 自分たちにできるSDGsを考えよう」の学習で、いくつかの企業の方からお話を聞いたり、修学旅行では現地ボランティアの方から奈良市のSDGsの取り組みのお話を聞いたりしました。



みのお話を聞いたりしました。

1月17日(火)には、6年1組で自分たちの委員会活動がSDGsとどのような関わりがあり、今後どのように活動を進めていこうか考える授業を全校の先生方に見ていただきました。自分の考えを学級やグループの友達にわかりやすく話すことができていました。委員会活動を中心に、よりよい日野小学校にしたいという6年生の願いもしっかりと伝わってきました。

■「体と心の健康チェック」ここタンの実施

「Smart 連絡帳」が始まり、子供たちの「出欠状況」や「朝の健康状態」の把握が、全市でデジタル化されました。今後は、Smart 連絡帳の機能を拡充し、子供たち自身が朝の会、帰りの会にタブレット端末上で「体と心の健康チェック」を毎日実施し、教職員がその状態の変化を捉えることができるシステム(ここタン)を活用していくこととなりました。

学校として、体と心の健康チェックを通じて、子供たちが自分自身の心の状態を客観的に判断し表出したり、その変化に気づいたりする機会を得ること、教職員はチェック結果から子供たちの心の変容を把握しやすくなり、適切な声かけ等の対応へつなげるなど、子供たちと教職員双方に教育的効果があるものと考えます。

「体と心の健康チェック」は画面上の表示される項目や5段階評価から今の体や心の状態を選択する機能と教職員にどうしても聞いてほしいことがあるときのメッセージ発信機能の2つから構成されています。なお、今回の機能拡充に伴う設定作業等は子供たちと一緒に学校で行います。(ご家庭で作業や対応、負担等は一切ありませんのでご安心ください。)